

見ないで打てる、差をつける！

タッチタイピングを身につけよう

メリット

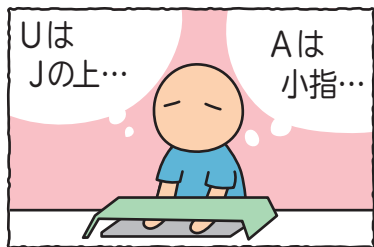
- ・確認しながら打つので **タイプミスに気づきやすい**
- ・目線を動かさないで **画面上の作業に集中できる**
- ・体の負担が少なく **疲れにくい**

ホームポジション ▶



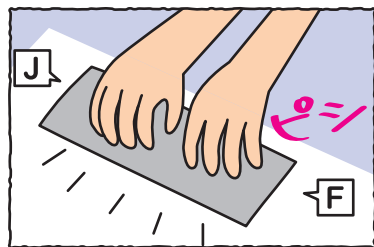
このイラストはサイズ・位置などを視覚的に覚えやすくするためにデフォルメしたもので、実際の配置とは異なります。

1 手元は絶対に見ず 記憶と触覚で探す



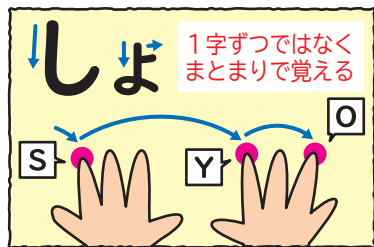
FとJの凸を手掛かりに探しましょう。手元さえ見なければ、このプリントは見てもOK。

2 ホームポジションに戻ることを意識



入力を終える度にスタート地点に戻ることで、次のキーの場所を見つけやすくなります。

3 かなのように「書き順」でおぼえる



ひらがなの書きとり練習を繰り返すように指の運び方を体に覚えさせましょう。

急がばタッチタイピング!?

「見ながら打ったほうが早い？」それは最初だけです。タッチタイピングの習得は難しいですが練習を続けていけば後から入力速度・入力の正確さで大きく差がつきます。必須技術であるのにかかわらず、全くキーを見ないでタイピングができる人は社会人でもわずか。思うようにい

かないときもありますが、将来のための先行投資と考え、コツコツ練習を続けてみましょう。

半角モードになってますよ...

